

## 令和6年度第3回 監査機関同士の意見交換 概要

### 1 開催日時

令和7年3月17日（月）午前10時00分から10時45分まで

### 2 場所

（公財）東京都スポーツ文化事業団事務局共用会議室

### 3 出席者

- ・監事 中山 正雄、飯塚 幸子
- ・EY 新日本有限責任監査法人 業務執行社員 小野寺 勝 ほか
- ・デフリンピック準備運営本部監査室 塩田 孝一 ほか

### 4 概要

監査室から「令和7年度内部監査計画(案)」及び「令和7年度監査業務スケジュール(案)」等について説明し、三者で意見交換を行った。主な意見は以下のとおり。

- ・大会のリスクを考えた場合、防災や事故対応等の危機管理対応や運用についても、ルールに基づいた運用ができているか、監査の視点で確認することが必要である。
- ・大会期間中の現金管理等については、事前のマニュアルの整備が重要であるとともに、日々の現金残高確認などの適正な運用についても、監査の視点での確認が必要である。
- ・大会後に運営に関する不正等の問題が出てくると、大会そのものの評価に影響を及ぼすことがある。大会準備期間だけでなく、大会開催中もトラブルや事故対応について、関係機関において迅速に情報を共有できるような仕組みを作ることが重要であり、事前に監査で確認をすることが必要である。
- ・令和7年度は、さらに職員が増えるため、引き続き、悉皆研修の実施や受講状況を確認されたい。

意見交換の結果、

- ・本日いただいた御意見はデフリンピック準備運営本部内で共有し、3月までに内部監査計画を公表する。
- ・各監査において気づきや懸念点等があれば共有する。
- ・次回の意見交換は来年度6月頃に実施予定などを申し合わせた。